

時代とハートを動かす

**SEIKO**

2017年3月期 中間報告書

2016年4月1日～2016年9月30日

# Report

*135<sup>th</sup>  
anniversary*



GPSソーラーウォッチ  
「セイコー アストロン」 SBXB117  
セイコー創業135周年記念  
セイコー アストロン5周年記念  
限定モデル(2,500本)

セイコーホールディングス株式会社



当社は本年12月、  
1881(明治14)年の創業から135周年を迎えます。  
株主の皆さまには永年に亘るご支援を賜り、  
厚く御礼申し上げます。

代表取締役会長 兼 グループ CEO  
服部 真二



代表取締役社長  
中村 吉伸

2017年3月期中間期の経営成績について

為替環境の変化と市況悪化の影響により  
連結業績見通しの修正を実施

為替環境が当初想定よりも円高で推移したこと、そして国内外の市場環境の悪化の影響から短期的な業績の回復は難しいと判断し、9月13日に通期および第2四半期累計期間連結業績見通しを修正いたしました。

当第2四半期累計期間の連結業績は、売上高1,223億円、営業利益31億円、経常利益16億円、親会社株主に帰属する四半期純損失は15億円となりました。

新たに設定した通期目標の必達に向け、新製品の投入や効果的な広告宣伝投資といった攻めの施策と、経費の適正化や設備投資の見直しといった財務体質強化に向けた施策に、グループ一丸となって取り組んでまいります。

セグメント別の概況について

通期目標の達成に向け、各事業での対策を推進

上期におけるウォッチ事業は、売上・利益ともに前年同期を下回る結果となりました。

下期での挽回、そして長期的視点での事業の成長に向け、流通・商品・広告宣伝が一つとなったブランド価値向上への取組みを、国内外で継続いたします。

流通の面では、世界の主要都市で展開するセイコー専門店・セイコーブティックが70店を超え、その頂点となるセイコープレミアムブティックの2号店を大阪に開店いたしました。海外では今年度に入り、中国、台湾、中近東での店舗展開の他、8月にはフランス・リヨン、そして9月にはアメリカで2店舗目となるマイアミに開店しました。今後もグローバル市場でのブランド価値向上に向け、相応しい立地条件を見極めながら店舗数の拡大を図ってまいります。

商品の面では、今期強化しているグランドセイコーのレディスモデルが好調に推移しています。また8月以降は、グランドセイコー、アストロンをはじめとする各ブランドでセイ

コー創業135周年記念限定モデルを投入するなどさらなる売上の拡大を図っています。

さらに、グローバル戦略ブランドとして、グランドセイコー、アストロン、プロスペックスに加え、今年から新たにプレザージュもグローバル展開を始めました。

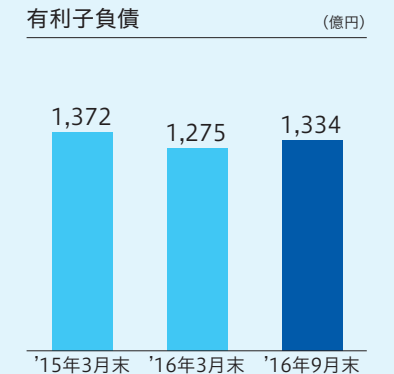
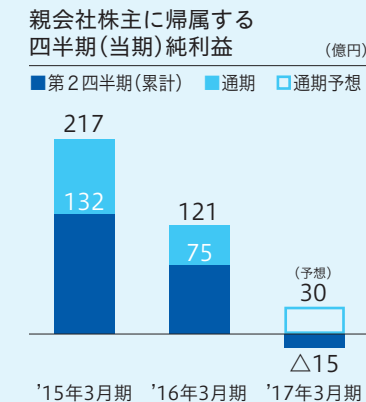
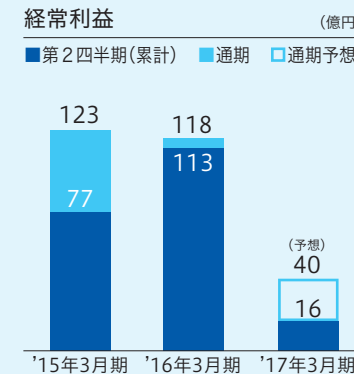
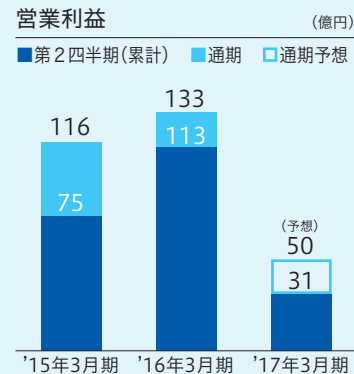
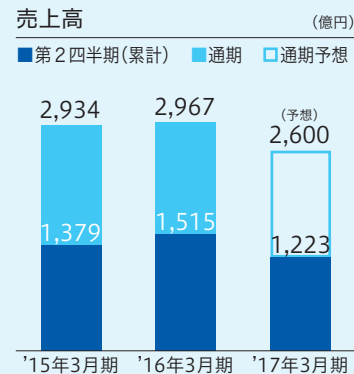
広告宣伝については、長期的視点で当社が成長していくために必要な投資として、重点地域や戦略商品を定め収益とのバランスや効率性に配慮しながら、ブランド価値の向上を目指した投資を今後も継続してまいります。



セイコーブティック マイアミ ©Robin Hill Photography  
セイコープレミアムブティック タカシマヤウオッチメゾン 大阪

決算ハイライト

Financial Highlights



電子デバイス事業は、売上・利益ともに前年同期を下回る結果となりました。

半導体は車載向けやスマートフォン向けで数量ベースでは堅調に推移したものの、円高の影響により売上高は減少しました。その他の製品分野でも幅広く円高の影響を受けております。

新たな主力製品の確立を目指し、産業用プリンタ向けのインクジェットプリントヘッドなどに注力してまいります。また、精密メカトロ・電子デバイス分野においては、安定収益を確保するとともに、不採算事業の構造改革を継続してまいります。

システムソリューション事業は、売上・利益ともに前年同期を上回りました。不採算事業の整理とビジネスモデルの転換の推進など、収益力強化策の効果が出てまいりました。製品分野別では、決済端末などのデータサービス事業や、ホームセキュリティ向けのモバイルソリューション事業などが好調に推移しました。

その他に含まれる事業では、セイコークロック(株)は円高の影響により海外向け売上高が減少したものの、国内向けは順調に伸び、堅調に推移しました。(株)和光においては、インバウンド需要の変調がスイス製高級ウオッチの販売に大きく影響し、売上を落としました。セイコータイムシステム(株)と併せ、これらの事業会社は第5次中期経営計画で実現した安定した収益体質を維持するとともに、各事業を通じてセイコーブランドの価値向上に貢献するよう展開してまいります。

株主の皆さまには、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

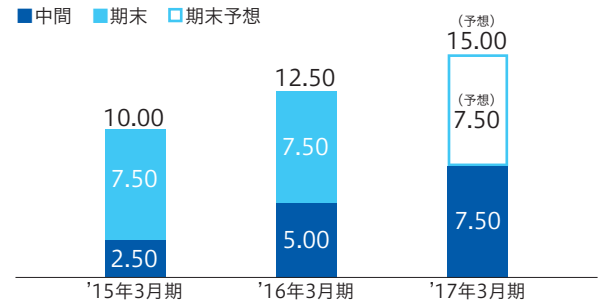
## 株主還元について

### 継続的・安定的な配当の実施を基本方針としています

株主の皆さまへの還元については、グループの連結業績をベースに、経営基盤強化のため内部留保の充実に配慮しつつ、長期的な観点から継続的・安定的な配当を実施することを基本方針としております。

この方針に基づき、当2017年3月期中間期末の配当金は1株当たり7.5円とさせていただきます。なお、期末配当金は7.5円(年間配当金15円)を見込んでおります。

#### 1株当たり配当金 (円)

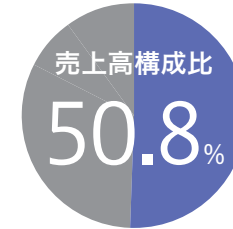


### 「企業ブランド大賞2016」受賞のご報告

去る10月26日、日経リサーチ「企業ブランド大賞2016」の表彰6企業の一つに選ばれましたことをご報告します。この賞は、同主催「ブランド戦略サーベイ2016」(対象企業580社)の結果を基に、審査委員会が選考するものです。当社に対しては、品質評価の向上が企業知覚指数を押し上げた好例であるとのご評価をいただき、上位100ブランドの中での伸び率が第1位となりました。この受賞を励みとし、引き続き135年に亘って築き上げてきた品質に磨きを掛け、さらなるブランド価値向上への取組みを進めてまいります。

## セグメント別情報

### ウオッチ事業



売上高  
646億円  
前年同期比 24.1%減

営業利益  
36億円  
前年同期比 62.5%減

#### おもな製品

ウオッチ、ウオッチムーブメント

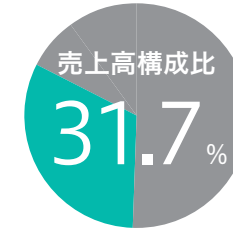


グランドセイコー  
レディスモデル



GPSソーラーウオッチ  
セイコー アストロン

### 電子デバイス事業



売上高  
404億円  
前年同期比 19.5%減

営業利益  
12億円  
前年同期比 50.8%減

#### おもな製品

半導体、水晶振動子、電池・材料、プリンタ、ハードディスクコンポーネント、カメラ用シャッター

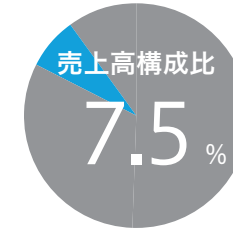


車載用IC



インクジェットプリントヘッド

### システムソリューション事業



売上高  
96億円  
前年同期比 10.8%増

営業利益  
5億円  
前年同期は  
22百万円の  
営業損失

#### おもな製品

無線通信機器、情報ネットワークシステム、データサービス



決済サービスソリューション



防犯監視IoTソリューション

### その他



売上高  
126億円  
前年同期比 7.1%減

営業損失  
2億円  
前年同期は  
1億円の  
営業利益

#### おもな製品

クロック、高級宝飾・服飾・雑貨品、設備時計他



デジタル電波時計  
セイコー シリーズC3



和光本館

単位：億円未満切り捨て

主な経営成績 (億円)	2012年3月期 (第151期)	2013年3月期 (第152期)	2014年3月期 (第153期)	2015年3月期 (第154期)	2016年3月期 (第155期)	〈参考〉 2017年3月期 (第156期) 第2四半期
売上高	2,969	2,837	3,082	2,934	2,967	1,223
営業利益	67	55	140	116	133	31
経常利益	12	32	101	123	118	16
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	△ 110	55	74	217	121	△ 15
純資産	319	408	647	925	1,026	956
総資産	3,861	3,553	3,667	3,337	3,291	3,187
営業活動によるキャッシュ・フロー	111	214	155	165	150	△ 32
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 112	△ 20	△ 109	462	△ 83	△ 54
財務活動によるキャッシュ・フロー	3	△ 292	△ 35	△ 668	△ 66	48

1株当たりデータ (円)

純資産	131.65	188.76	304.24	437.52	457.44	—
四半期(当期)純利益	△ 60.25	29.41	35.92	105.39	58.76	△ 7.34
配当金	0	2.50	5.00	10.00	12.50	7.50

主な指標

自己資本比率 (%)	6.2	11.0	17.1	27.1	28.7	27.3
ROA(総資産経常利益率 / %)	0.3	0.9	2.8	3.5	3.6	—
ROE(自己資本当期純利益率 / %)	△ 36.0	17.5	14.6	28.4	13.1	—
PER(株価収益率 / 倍)	△ 3.3	14.3	11.4	5.8	7.6	—
配当性向 (%)	—	8.5	13.9	9.5	21.3	—

→財務データに関する詳細な情報は当社ホームページよりご覧いただけます。 <http://www.seiko.co.jp/ir/financial/index.html>

会社情報

会社概要

社名 セイコーホールディングス株式会社  
 創業 1881年(明治14年)  
 資本金 100億円  
 従業員数 143名(単体)  
 13,412名(連結)  
 本店所在地 〒104-8129  
 東京都中央区銀座四丁目5番11号  
 本社所在地 〒104-8110  
 (5月23日移転) 東京都中央区銀座一丁目26番1号  
 電話：03-3563-2111(代表)  
 W E B サ イ ト <http://www.seiko.co.jp>

役員

代表取締役会長 兼 グループCEO	服部 真二
代表取締役社長	中村 吉伸
常務取締役	高橋 修司
常務取締役	大熊 右泰
取締役	金川 宏美
取締役	瀧沢 観
取締役	内藤 昭男
取締役	藤井 美英
取締役	村上 斉
取締役	石井 俊太郎
取締役	梅本 宏彦
取締役	原田 明夫 <sup>*1</sup>
取締役	カーステン・フィッシャー <sup>*1</sup>
常勤監査役	三上 誠一
常勤監査役	高木 晴彦
監査役	山内 悦嗣 <sup>*2</sup>
監査役	青木 芳郎 <sup>*2</sup>
監査役	浅野 友靖 <sup>*2</sup>

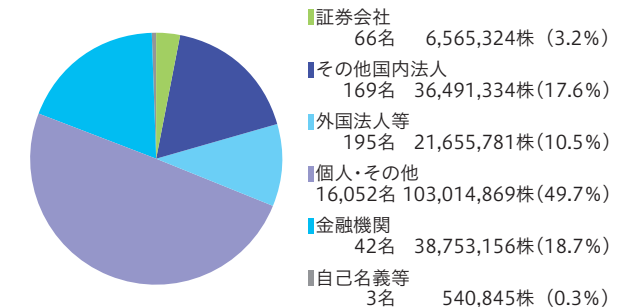
<sup>\*1</sup> 社外取締役  
<sup>\*2</sup> 社外監査役

株式情報

株式の状況

発行可能株式総数 746,000,000株  
 発行済株式の総数 207,021,309株  
 株主数 16,527名

株式所有者別の状況



※自己名義等は、自己名義株式(283,436株)および当社関係会社が所有する株式です。

株主メモ

証券コード 8050  
 上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部  
 決算基準日 3月31日  
 配当支払株主確定日 期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日  
 株主名簿管理人および特別口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社  
 同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 郵送物送付先 お問い合わせ先 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 〒168-8507  
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 電話：0120-288-324(フリーダイヤル)  
 公告の方法 電子公告  
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載して行います。

## セイコー社員 山縣亮太選手が銀メダルを獲得！

セイコーの社員である山縣亮太選手が、2016年8月に開催されたりオデジャネイロ五輪男子4×100mリレーにて銀メダルを獲得し、日本陸上界においてトラック種目としては88年ぶり、男子では史上初となる快挙を成し遂げました。100m個人では、2012年ロンドン五輪に引き続き、10秒05でオリンピックにおける日本選手最速記録となる自己記録を更新。オリンピックの大舞台で、まさに当社のグループスローガン「時代とハートを動かすセイコー」を体現する活躍を見せました。

### ■ 山縣亮太選手 入社後の主な戦歴

- 2015年4月 セイコーホールディングス(株)入社
- 2016年5月 セイコーゴールデングランプリ 10秒21 準優勝(日本選手最高位)
  - 6月 布勢スプリント 10秒06 4年ぶりの自己記録更新
  - 日本選手権 10秒17 準優勝
- 8月 リオデジャネイロ五輪 10秒05 自己記録更新
- 9月 全日本実業団 10秒03 今季3度目の自己記録新



セイコーは1964年東京五輪の計時支援を始まりとして、スポーツへの支援を続けてきました。日本選手初の9秒台を目指す山縣選手と共に、セイコーは今後もスポーツと音楽を通して、世界中の方々と感動を分かち合えるグローバルな企業グループを目指していきます。

セイコーホールディングス株式会社

〒104-8110 東京都中央区銀座一丁目26番1号  
電話 03-3563-2111 (代表)

